

6：尿が赤い（血尿）

排尿時に便器に血がついたという状況から真っ赤な尿が出たという症状まで

色々な血尿があります（**肉眼的血尿**：目で見て赤いあるいはピンク白、コーラ色なども血尿の可能性あります）。

肉眼的血尿の90%では、検査すると明らかな病気が見つかります。

1) から5) まで順番に行います。

1) **検尿**：便秘薬などで尿に色がつき血尿と間違えることもありますので、顕微鏡で本当に血尿（赤血球が出ているか）調べます。白血球や細菌により感染（膀胱炎など）がわかります。

2) **超音波**：腎、膀胱、前立腺を観察し、腫瘍や結石などが診断されます。

3) **尿細胞診**：尿中の悪性細胞（がん細胞）の有無を調べます。

4) **造影CT**：腎から腎盂・尿管、膀胱まで造影剤を使って腫瘍などを調べます。

5) **膀胱鏡**：尿道からファイバー内視鏡で膀胱の中を観察します。

6：尿が赤い（血尿）

血尿になる主な病気

- 1) 膀胱炎 排尿痛や頻尿とともに起きます。
- 2) 尿路結石 痛みとともにあるいはその後に起きることがあります。
- 3) 膀胱癌 ほとんどが痛みはありません。
- 4) 腎がん 血尿以外は症状のないことが多いです。
- 5) 前立腺肥大症：大きくなると出血しやすくなります。
- 6) 抗血小板薬や抗凝固薬：脳梗塞や心筋梗塞の再発予防に内服する薬での副作用として起きることがあります。
- 7) IgA腎症 内科的疾患で若い人に多く見られ、蛋白尿も合併します。